

3月定例会のご案内

「ビデオ稼業の3月はどうやって乗り越える?」ということで皆さんで一席

多忙な年度末ということで、開催日は後半での実施といたします。3月はやはり特別な月ですね。毎年のことですが、確定申告・年度末にかかわる作業等々…あ～あ。皆さんはどんな様子なんでしょうか?

日時 3月28日(水) 午後7:00～
場所 日暮里サニーホール 第1会議室

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5
ホテルラングウッド5階 03-3807-3211
JR・京成 日暮里駅前より徒歩約5分。

2月定例会報告 (2018/2/14)



今回の出席者は
いつもより↓
2月も忙しい月です。

脇田氏からのジャケット印刷のお話し

かねてから興味があったものの一つの「外注印刷」についてでした。

どうしても納期に追われ気味になっている日常、仕事の回し方が下手のだろう。だから印刷はつい小回りのきく市販プリンターでの自家印刷仕様。

話を聞いていると外注印刷も思っていたより随分と敷居が低そうに感じる。印刷された現物もしっかりとしていて、コストも低い。あとはきっかけと慣れか。(T)

ついでに盤面印刷のお話しも

1枚1分ほどかかる盤面印刷。昔は、市販プリンター2台態勢で行っていた。その都度交互に1枚ずつディスクを差し変えながら、合間にDVDケースにジャケット挿入しながら、とワサワサと行っていた。が、近藤氏のアドバイスもあって、数年前にEPSONの印刷専用機(PP-50)にチェンジ。多少のクセはあるものの最大50枚の連続印刷ができるので助かっている。正直いまやこれが無いとキツイです。

H30年会費(12,000円)未納の方は規約により、自動退会となります。

H30年度年会費未納の方は、今回の会報を持ちましてビズネットからの連絡等は終了となります。尚、再入会ご希望の方はいつでもご連絡下さい。よろしくお願いいたします。

※退会後も、メーリングリストのメンテナンスの都合により、会報が届いてしまう場合があるかも知れません。そのさいはご容赦願います。

2月が去り、はや3月。前号でお話したフォーカスが合わないという故障（診断はレンズ内部の電気不良）のカメラ NX70J は修理を終えて無事に戻ってきた。6年以上も前に購入したカメラで、スペックの進歩を考えると買い替えも仕方ないかと思っていたのだが、小型であることやレンズ外周のリングにアイリスやフォーカスを任意に充てる事が出来るカメラで、「引き専用」のカメラとしてはその使い勝手の良さに何かと重宝していたのでやはりひと安心。

さて、溜まっていた編集も何とか終えつつあり、安ど感もようやくでてきた。もともと手間のかかることをやってきたので、その分、時間のかかることは仕方のないこと。たとえば以下。

★撮影時の点描は季節・天候・場所を表すカットをほぼ必ずオープニングに挿入。これは顧客が後々見た場合の「その時の思い出の増長手助け」を考慮したもの。だいたい20カットほど撮影して10カットくらいを使用。カット割りにはやや凝る。

★ジャケットでは年度、年月日を入れる際、和暦をだけでなく必ず西暦も併記するよう心掛ける。またプログラムの各演目名等は必ず記載しておく。これはたとえば発表会や運動会等だけでなく、お泊り保育等々全ての行事に適用。★BDロゴは表裏背すべてに記載。このロゴは納品後、DVD と入り混じっても一目ですぐに判別できるので、購入者に振り分けする際に、何かと忙しい学校や幼稚園の先生方にとっては好評。

★盤面も和暦西暦併記が原則。ちなみにデザイン画はほぼ撮影映像から静止画引用する。文字だけで済ますことは無い。これはジャケット画も同じ基準。だから点描撮影時にはいつもそのことを思い描いて別途、素材撮影素材を行うも、慣れてくると手間はそんなに感じない。

★DVD やBD のメニュー画面チャプターは購入者にわかりやすく、各演目名を記入する。これはジャケットの演目名=チャプター名でもあるということ。メニュー画面に挿入する画像はもちろん撮影映像からの静止画引用。

このようにテキストが多いということは「誤字脱字」のリスクが高くなることにもなるが、続けている。

そのほか、編集時にやっていること。例えば、★「おゆうぎ会」などでの影アナによる前説では長いものでは1分にも及ぶこともあり、その間、どん帳映像だけでは味気ないのでダイジェスト的に映像から抜き出した静止画を小さめに貼り付けていく。★「音楽発表会」ではエンディングに各楽器名とその担当者名を映像とからめてロールする。★「お泊り保育」ではオープニングだけでなく、場合によっては余韻を保つために1～2分のエンディングを設ける。★「運動会」では徒競走などアツという間に終わってしまう競技にはエンディングにてスロー+BGM で再登場を願う等々、小技は多数。

全てを対象に行っているわけではないが、どれもこれもそこそお手間のかかる作業。

上記のこれらは技術的な話しではなく、考え方の話し。お客様目線で、たとえば聞こえはいいが、自分の中でのこだわりもある。その境界は曖昧だけど。でも結局お客さんからの信頼感はその分徐々に大きくなっていくのは感じる。